

# 里親なら

(題字)  
興福寺・多川俊映貫首



### (主な内容)

- ・生きる力を育む (1)
- ・私は『幸せ!』だから出来る 里子から里親に (2)
- ・奈良県里親会の活動 (4)
- ・随想・玉章 (5)
- ・奈良県の動き (6)
- ・子そだて広場 (7)
- ・子育てのワンポイント (8)
- ・編集後記 (8)

第3号 2008年3月1日  
発行 奈良県里親会  
住所 奈良市紀寺町833

奈良県中央子ども家庭  
相談センター内  
TEL 0742-26-3788  
FAX 0742-26-5651  
(ホームページ)  
<http://narasatooya.jp/>  
(携帯用ホームページ)  
<http://narasatooya.jp/keitai.html>

この会報は、独立行政  
法人福祉医療機構「長  
寿・子育て・障害者」  
事業の助成金で作ら  
れました。

## 生きる力を育む

奈良県高田子ども家庭相談センター

所長 池田 常雄

里親の皆さん、毎日の子育てご苦労様です。新しい子どもを家庭に迎えることは、大きな喜びでもあります。戸惑われることも多いと思います。

よく知られているように、子どもは赤ちゃん返りをします。今まで出来ていたことが出来なくなり、強い甘えを示してきます。その甘えを受け止めても



(保育園年少・Kちゃん作)

受け止めてもさらに甘えてきます。「みんなかわいいよ」ではだめで「あなただけがかわいいよ」でなければ納得してくれません。

新しい家庭にすれば子どもは、もつと戸惑います。自分はこれからどうなっていくのか不安が一杯で、そのような行動をとるのでしよう。新しい家庭に馴染むまでには、時間が必要ですよ。

子どもなりに、自分が今、この家庭にいる意味を考え心の整理をつけようとしていてるのです。

ところで、第2回里親セミナーで講師の米沢晋子先生(家庭養護促進協会)が、その子の生い立ちや成長のプロセスをとどめておいてほしい、あなたは小さい時こんなだ

つたよと話せることが大切だと言われました。

自分の過去を確認できることは、成長にとつてなくてはならないものだと思います。どんな小さなことでもよいから記録にとどめて下さい。写真による記録も重要です。親から大切にされてきたという証になるでしょう。

個人的な話になりますが、私は成長した娘に、私とお風呂に入りたがったり、一緒に寝てくれとせがんだ話をよくしました。娘は、それは小さい時やと反発しますが、そこには親を信頼していた過去があるのです。子どもにとって何よりも大切なことは、自分が親から愛され、大切に思われているという感覚です。細かいエピソードを通じてお子さんとのつながりを深めていたただきたいと思えます。血のつながりはなくてもいつも自分を見守ってくれている人がいるという

実感こそ子どもにとつての生きる力でしょう。

私は、何年か前に、ある中学生を児童養護施設に入れました。高校に進学した彼は、卓球部で3年間頑張り試合にもよく出場しました。卓球関係者でもある私は、彼の試合を注目して見ていました。声をかけようと思いが、彼は早く負けてしまい、いつの間にかいなくなるので、ついに在学中には声をかけられませんでした。

ところが彼が就職した後、偶然、道で出会ったのです。私は、卓球の試合をいつも見ていたこと、こういうサーブをよくしていたらうという話をしました。すると彼は「先生、ぼくのこと見ていてくれたんですね」と大変喜んでくれました。

赤ちゃんポストというものがあります。様々な事情で赤ちゃんを育てられない時に親が名前も告げずに置いて行きます。

賛否ありますが私は、子どもの過去を奪うという点で、大変憂慮します。

どうしても育てられない場合、全国の児童相談所では、事情を詳しく伺った上で乳児院にお預かりできます。しかし赤ちゃんポストの場合は、生んでくれた親の名前さえわからないのです。まさに根源的な過去を失わせるものと思います。

このように言いますと子育てがとても困難に満ち

ちたもののように思われるかも知れません。それは実親であっても同じだと思います。しかしまた、日々成長していく子どもを見ることは、この上ない喜びであるでしょう。

親といえども親だけでは成長できません。子どもによって成長させられる面が大きいです。泣いたり笑ったりしながらお互いに成長していくのが子育てではないでしょうか。

### 里親の種類 あなたも、里親になっていただけませんか?

#### 養子里親

- ・特別養子縁組・・・原則、6歳未満の子どもが対象で子どもとの年齢差が概ね40歳以内のご夫婦
- ・養子縁組

#### 養育里親

- ・養育里親・・・要保護児童を養育する里親
- ・短期里親・・・1年以内の短期間、養育する里親
  - └(週末・季節里親・・・施設児童を 対象とした里親)

#### 専門里親

・・・被虐待児等を専門的に支援する里親

#### 親族里親

・・・里子を3親等内の親族に限定し所定の要件に該当する里親

(第2回里親セミナーより)

## 私は『幸せ!』 だから出来る 里子から里親に

(大阪市 N・M)

### ■プロフィール

私が里子として児童養護施設から里親家庭に引き取られたのは今から25年前、母が55歳、私が5歳になる頃です。

母には実子が3人いますが、私が引き取られた時には皆自立していました。母には養育里親として育てて貰い25年たつのですが、去年私が結婚した際に、主人にも理解してもらい現在も一つ屋根の下で暮らしております。その際、念願だった養子縁組をしてもらいました。

その後、子どもを授かりまして出産、今5カ月になる男の子がいます。いずれは私も母のように里親をしたいと思っておりますが、児童相談所から里子の依頼がありまして、現在、8歳で小学2年生の女の子をお預か

りしています。母の指導の下、四苦八苦しな日々に里親のことを学んでいます。

### ■幼少の頃

私の実母は私を産んですぐにいなくなり、産院のベッドに置き去りにされた私は乳児院に預けられ、5歳まで児童養護施設(学園)で育ちました。とにかくやんちゃで、学園内ではケンカばかり、同年代の子を傷つけることも度々あり、学園の先生達からは迷惑がられていたようです。

学園での5年間の間に何度か里親家庭に預けられたのですが、3日もたず返されてしまいました。預けられた先の里親さんが、怒りながら「もう、こんな子お手上げです。明日朝一番に連れて行きますから」と怒りながら

電話をしているのを、二階の階段から聞いていたのをかすかに記憶しています。

そんな頃、私は養父母の元に預けられました。学園の先生達は皆、問題児の私が3日で帰って来ないことを願っていたのだと思います。

私が児童養護施設で育った頃の5年間は、普通の家庭で育つた子とは違い、自分の物は自分の物、人の物も自分の物という感覚でいました。食にも卑しく、まだ5歳なのに好み焼きを5枚は食べる有様でした。また愛情にも飢えていましたので、赤ちゃんがえりをし、50歳をすぎた母のおっぱいに吸い付いたこともあり、しつけなど何もされていなく、落ち着きがなかった為、私を少し障害のある子だと

思っていた方もおられたようです。

### ■学校での日々

小学校でも、やんちゃぶりはなかなか直らず、同級生のお母さんが苦情を言いによく来られていました。その都度、母が謝っていたのを覚えています。低学年の頃から皆と保険証の色が違うことが気になるようになりました。それと私が母のことをお母さんと呼んでいると、友達に「おかあさん？ちがうよ！おばあちゃんじゃないの？」と言われ、家と学校での呼び方を使い分けていました。だから家に友達遊びに来ると、どちらとも呼べず、苦慮していました。

中学生になると思春期でもあり、それまで以上に自分の生い立ちを気にするようになり、隠そうとするあまり嘘を重ねた時期もありました。どこに向けることも出来ない気持ち非行や反抗に走った原因なのかもしれません。万引き・恐喝・暴行など。怒られる度に本当の親じゃなくせにと反発していました。非行や反抗で高校には行け

ない状況だったので、両親の尽力で奈良県内の私立高校に進学出来ることになりました。その際、母にお願いして表むきの名前だけを両親(里親)の名前に変えてもらいました。

高校でも問題が絶えず、何度も停学処分になりました。卒業後は2年間、専修学校に通ったのですが、高校に引き続き寮生活だったため、かこの中から放たれた鳥のように自由奔放、毎晩のように飲み歩き、学校に行く頃は寝る時間で、結果、出席日数が足りず、条件付きの卒業となりました。

専修学校2年目の時に弁護士事務所から一通の封書が届きました。中を見ると実の父の借金を私に返済するようにとの内容でした。当時、実の父は借金を残して他界し、実の母に借金返済を依頼したのですが、出来な

いとのことで、戸籍上長女の私の所へ借金返済の通知が来たのです。金額は350万円という大金でした。私を捨てた親の借金を何故私が返済しなければいけないのか？しかも顔も見ることがない

親です。この時ほど心底親を憎み、恨んだことはありません。形だけの戸籍なんて、なくなってしまう方がいいのに、と何度か悲しい気持ちでいっぱいになりました。心配でいっぱい私を、母は「大丈夫！」と言って安心させてくれました。

その後、何度も弁護士事務所と家庭裁判所に足を運び、当時学生だった私に返済能力がないことが認められ、払わなくて済みました。このときも母がいろいろと助けてくれました。

### ■社会人となって

卒業後、母の計らいで車の免許を取得し、少しでも人様のお役に立てるようにと、社会福祉の仕事を用意してくれたのですが、それを裏切り、家を出ました。家を出しては気が向くと家に帰るような状態が続きました。親に散々迷惑をかけ、合わす顔もなかった私を、両親は何も言わずただ「おかえり」と、いつも温かく迎えてくれました。私が少しずつ落ち着きはじめてしたのは二十代半ばで、



里親制度の説明風景

家に戻ってからは、母の  
幹旋で知的障害者の総合  
施設で働き始めました。  
通信大学で資格も取得し、  
寿退社するまで6年間勤  
めました。

幼い頃の私は自分の生  
い立ちから故、ハンディ  
キャップを持った方たち  
を見ると、勝手に自分よ  
り不幸な人だと決めつけ  
自分と見比べて勝ったよ  
うな気持ちなる、少しゆ  
がんだ性格をもっていました。  
しかし、自分の中  
にぼつかりと空いてしま  
っていた空洞を、年を重  
ねていく毎に両親の底し  
れぬ愛情が埋めていって  
くれ、満たされたのでし  
ようか、人を蔑んだりす  
ることもなくなり、相手  
に優しく、困っている人  
に手を差し伸べることが  
出来るようになりました。

働いている間、利用者  
の方の身の上話を聞く度  
に、私は「幸せ」なんだ  
と思えるようになりまし  
た。障害があるが故に学  
校でも社会に出てからも  
いじめられ、親からも邪  
険に扱われたりするなど、  
血のつながった親子でも  
幸せじゃない人もいるこ  
とを知りました。私は両  
親に出会い、かけがえの  
ない愛情を沢山もらい、  
いつも温かく見守っても  
らえている、これ以上の  
幸せはないじゃないか!!  
と気づいた時に、何かふ  
つきた気持ちになった  
のです。

■入籍のこと

私は度々、両親に籍を  
入れてほしいと頼みまし  
た。しかし、母はいつも  
「ハイハイ」と言うだけ  
で思うようにはしてくれ  
ませんでした。その当時  
は分からなかったのです  
が、自分の生い立ち隠し  
の為だけの入籍では駄目  
私に生みの親に対する感  
謝の心を失わせたくな  
かったのだと思います。私  
に、産まれてきて良かった  
!と感謝出来る子に育  
ってほしいと願っていた  
のだと思います。母の口

癖は「親を恨んではいけ  
ませんよ」でした。私は、  
生い立ち隠しの入籍では  
なく、心底この両親の子  
になりたいと懇願しまし  
た。そして、私の結婚が決  
まった際に、やっと念願だ  
った養子縁組を、父(養  
父)の命日の日にしても  
らいました。

結婚に至るまでもいろ  
いろなことがありました。  
主人に出会ってから付き  
合うようになるまで、な  
かなか言い出せなかった  
ことがありました。それ  
はやつぱり自分の生い立  
ちのことでした。どう思  
うのかな?もしかしたら  
嫌われるかな?など。言  
うまでには時間がかかり  
ました。しかし、主人に  
は「なんやあー、そんな  
ことかあー。俺はNちゃ  
んの生い立ちと付き合う  
訳じゃないねんで。もつ  
と大変なことかと思っ  
ていたわ」と言われ、真剣  
に考えていた自分が馬鹿  
らしくなりました。私が  
気にしていたこととって他  
人からすれば案外ちっぽ  
けなことなのかもしれま  
せん。しかし主人のよう  
な人達ばかりではないの  
も現状であり、だからこ  
そ生い立ちということに

捕らわれてしまうのです。  
母は私がどんな悪いこ  
とをしても、いつでも見  
守ってくれていました。  
手を挙げられたことも、  
感情的になって怒られた  
ことも一度だってありま  
せん。常に私の幸せだけ  
を願っていてくれました。  
だから私は幸せ!!と感じ  
ることが出来たと思うし、  
幸せだからこそ、実の両  
親も恨まなくなつたと思  
います。

こんな私が子どもを産  
んで母親となりました。  
子どもが産まれてくるまで、  
産まれてきてくれた時の  
喜び、寝不足になりなが  
ら夜中に母乳をあげたこと、  
初めての笑顔、寝返りな  
ど全ての出来事が宝物で、  
子どもの存在が私に安ら  
ぎを与えてくれてます。  
この積み重ねが子どもを  
育てられるのだと思います。  
私が親になって思うのは、  
問題の多過ぎた私を両親  
が愛情いっぱい育てて  
くれたことは並大抵の努  
力と忍耐ではなかったと  
いうことです。私が親なら、  
私みたいなのはぶん殴っ  
てやりたくありません。私  
が親としての経験を積む  
たびに、両親に対するこ  
れまでの「ごめんさい」

の反省の気持ちと、こん  
な私をここまで育ててく  
れた感謝の気持ちで胸が  
いっぱいになります。

■里親さんに望むこと:

ここ半年の間に、里子  
会で知り合った同じ立場  
の里子が二人、私を訪ね  
てきました。二人とも養  
子縁組で育てられたけれ  
ど、学校や職場を途中で  
辞めてしまったので両親  
が怒ってしまい、離縁さ  
れてしまったそうです。  
家を追い出され方にく  
れてしまったとのこと。  
マンションを借りるにも  
保証人がなく、どうした  
らいいのかとの相談でした。  
その話を聞いた時は胸が  
張り裂けそうになりました。  
二人ともまだ20歳を  
過ぎたばかり、私がして  
きた非行に比べると学校  
を辞めたくらいで離縁ま  
でしなくてもいいのでは  
ないか?。着の身着のま  
ま家を追い出さなくても  
いいのではないかと。一  
人でも多くの里子達が「私  
は幸せだ」と感じてほし  
いと願うばかりです。里  
親さんの期待や目先の出  
来事ばかりに感情的にな  
らずに、何よりもその子  
の幸せを願ってあげてほ

携帯からも  
アクセスしてね!!  
http://narasatooya.jp/keitai.html

しい。そして時には長い  
目で見守ってあげてほし  
いな、と思いました。  
私のようにこの歳にな  
っても愛情いっぱい育て  
られている里子達はほん  
の一握りだと思えます。  
何歳になろうと人は一人  
では生きていけないと思  
います。帰るふるさとが  
ある、頼れる人がいるこ  
とはかけがえのないこと  
です。  
預かった里子の数を競  
い合うより、育ててきた  
里子の数を競い合う里親  
さんが増えてほしいと思  
います。



# 奈良県里親会の活動

## 里親情報交換会を 開催

(おしゃべり広場)

平成19年5月～11月の第3木曜日を中心に社会福祉法人天理を会場に、里親さんとその家族などが集まり、互いに交流し情報交換することを目的に、里親情報交換会(愛称『おしゃべり広場』)を、児童家庭支援センターでの相談員さんに加わっていたいただき開催しました。里親情報交換会も回数を重ねるごとに話も盛り上がり、参加者からはとても好評を得ました。予定にない1月、2月も集まりたいとの要望を受け開催し、計8回、延べ96人、17人の里親さんにご参加いただきました。

平成20年度は、毎月、第2木曜日の開催を予定していますので、是非、

### 心に残る言葉

「人生、何事かを成し遂げるに、もはや遅すぎるといふことは決してありません。ただ、残りの時間が短い、というだけのことです。」

昔、あるご老人が言っておられた言葉です。

ご参加ください。1月と2月の『おしゃべり広場』に参加された方の感想の一部をご紹介します。

○ここ数年、小学校の生活科の時間に「生いたち」について調べたり、考えたりする授業があると聞いていましたが、具体的な内容を聞くことができ、とても参考になりました。本人及び学校側にどこまで告知をしているのか、対応の仕方もかわつてくるな...と、思いました。

○初めて参加しましたが、温かい雰囲気良かったです。養子縁組が成立した時(書類上の手続き)の話ができて、今後の参考になったと思います。

○初めておしゃべり広場に参加させていただき、日当たりのいい気持ちのいいお部屋で、楽しい時間を過ごすことができました。

した。初めての参加なのに皆さんから気易く声を掛けていただき、少し緊張していたのですが、行かせていただいたよかったです。

○参加者が全員女性だったので、場違いかなと思いつつも楽しく聞かせていただきました。現在、中学生の里親をさせていただいておりますが、私

## 第3回里親サロン を開催 — 12月

第3回里親サロン『冬の親子会』を、平成19年12月15日(土)午後1時30分から、奈良市生涯学習センターを会場に開催しました。

今回は、「ジャグリングショーお楽しみ会」と題して、ジャグラー・希先生を講師にお招きして、ショーと交流会を行い、16人の里親と15人の子どもが参加しました。

ジャグリングショーは、音楽に合わせて6つのお手玉や3つの大コマをつかった見事な演技で、子どもも大人もドキドキしながら楽しみました。

続いで交流会では、

の家族の中では、里親とから里子のように分けた感じではなく、本当の親子のように楽しく暮らしています。彼女たちが家に来てくれたおかげで、実子達にこれまで以上に相手を思いやる気持ちが出てきて、とてもよい家族になったと喜んでいました。里親同士の親睦、交流を図る場となりました。



トランプを使ったマジックを披露していただいた後、参加者もトランプマジックの種作りをして、互いに実演をしました。

また、みんなでクリスマスソングを歌ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



厚生労働省が今国会(第169回国会)に児童福祉法等の一部を改正する法律案を提出(平成20年3月4日提出)

### 【趣旨】

「子どもと家族を応援する日本」重点戦略等を踏まえ、家庭的保育事業等の新たな子育て支援サービスの創設、虐待を受けた子ども等に対する家庭的環境における養護の充実、仕事と生活の両立支援のための一般事業主行動計画の策定の促進など、地域や職場における次世代育成支援対策を推進するための所要の改正を行う。

### 【主な内容】

① 新たな子育て支援サービスの創設  
(児童福祉法等の一部改正)

○一定の質を確保しつつ、多様な主体による保育サービスの普及促進とすべての家庭における子育て支援の拡充を図るため、新たに家庭的保育事業(保育ママ)、すべての子どもを対象とした一時預かり事業、乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん事業)、養育支援訪問事業及び地域子育て支援拠点事業を法律上創設し、市町村におけるサービスの実施の促進を図る。

② 困難な状況にある子どもや家族に対する支援の強化(児童福祉法等の一部改正)

○里親制度を社会的養護の受皿として拡充するため、養子縁組を前提としない里親(養育里親)を制度化し、一定の研修を要件とするなど里親制度を見直す。

○家庭的な環境における子どもの養育を推進するため、虐待を受けた子ども等を養育者の住居において養育する事業(ファミリーホーム)を創設。

○児童養護施設等の内部における虐待対策の強化のため、虐待を発見した者の通告義務等を設けるほか、地域における児童虐待対策の強化を行う。

③ 地域における子育て支援サービスの基盤整備(次世代育成支援対策推進法の一部改正)

(厚生労働省ホームページより)

第2回、第3回里親セミナーを開催  
— 11月・2月

第2回里親セミナーを、平成19年11月17日(土)午後1時から、ならまちセンター3階研修室で開催しました。

開会式と里親制度の説明の後、家庭養護促進協会神戸事務所主任ケースワーカー・米沢普子先生の講演がありました。愛



第2回里親セミナー・講演風景

着形成の場、安全・安心の場、家族モデルを学ぶ場、所属感を醸成の場、を上げ家庭で育つことの重要性についてのお話をいただきました。

その後、元里子さんと養育里親さんより体験発表があり、質疑も行なわれました。当日は58人が参加の中、一般の方も21人ご参加下さいました。少しづつ里親への関心が高まってきていると実感しました。

次に、第3回里親セミナーを平成20年2月16日(土)、午後1時30分から香芝市総合福祉センターにて開催しました。

里親制度の詳しい説明の後、第1回目にもお話いただいた家庭養護促進協会理事・岩崎美枝子先生の講演がありました。

また、滋賀県、三重県の養育里親さんより養育体験発表があり、32人が



第3回里親セミナー・質疑応答風景

参加しました。

奈良県里親会として初めて県内3カ所での「里親セミナー」を開催しましたが、もともと里親の楽しさを知っていただけ機会を増やしていければと考えています。

そして、家庭を必要としている子どもたちの多様なニーズに答えられる里親家庭の開拓の必要性を痛感しました。

里親活動にご協力をお願い致します。

レスパイト・ケア支援家庭募集!

子どもを預かっていられる里親家庭が一時的な休息のための援助(以下「レスパイト・ケア」という。)を必要とする場合に、乳児院、児童養護施設等、または他の里親を活用して、年7日以内で、子どもの養育を行う制度が奈良県にもできました。

里親登録者などで、里親委託中の子どもを一時的に預かっていただけるレスパイト・ケア支援家庭を募集しています。

ご協力いただける方は、左記こども家庭相談センターまでご連絡ください。

◇中央こども家庭相談センター

(電話) 0742-26-3788

◇高田こども家庭相談センター

(電話) 0745-22-6079

随想

玉章 たまざさ



この子らはどんな育て方?

体験談ですが、スポーツ施設の清掃をしていること。ダンスホールから巨大なアリーナに至るまで、一人で長時間清掃していますと、対象の床や壁面の鏡やガラス、そして清掃器具のみが相手なので、味気ない世界なのです。ところが、実際には利用客とのすれ違いがあつて、先方(勿論大人が多い)から話し掛けられることもあり、長く仕事を続けていると、その機会も増えて来ます。

さても、あるトイレを清掃していましたら、元気な男の子が二人、はしゃいで入って来ました。上の子が小学校一年生位かと思われる子らで、服装からは兄弟と云う感じです。私と清掃器具を見て、「何をしているの?」と、云ったので、「お掃除しているんだよ」と、答えましたら、

小さい方が、「掃除なんていらさないじゃん、綺麗だよ」と、云いました。実際、その辺りは未だ掃除していませんでしたが、一般の公衆トイレに比べたら、格段に綺麗なのです。小便器では、自動洗浄装置が作動します。ところがそれでも、その周辺は汚れますし、便器自体も洗剤で洗わないと、数日で匂いが籠ってしまいますから、日々洗って、清潔さを保っている訳です。

そこで私は、「おじさんが、毎日洗っているから、綺麗だけれど、洗わないと臭くなるんだよ」と、云いました。すると、最初に声を掛けて来た大きい方が、便器の傍に行つて匂いを嗅ぎ、「うん、臭くない、こんなの初めてだよ」と、云いました。そして用を済ませてから、手をパッと洗って、トイレの外へ出るところで、二人揃つて、「おじさん、有り難う」と、云つて出て行つたのです。この子らは、スイミングクラブ主催の水泳教室に参加していた子ども達のようなでした。

また、アリーナ使用のグループで、休日に朝から新体操を習っている子ども達があります。全員女の子で、上

は高校生位から幼少の子迄いるのです。その中で、小学校中上級程度の4~5人の仲良しグループがいて、いつも廊下の同じ所に固まって、アリーナの開館を待っています。丁度真向かいのトレーニングルームを私が清掃し終えて、廊下へ出て行くと、向こうから挨拶してくれます。「こんにちは」と、掛け声も朗らかです。こちらにも応えますと、そのうちの誰かが、「いつも有り難う御座います」と、云ってくれるのです。実は、私はこのアリーナを早朝、7時前からモップ掛け作業をして清掃していますが、利用客は見えていません。

この施設を利用している子ども達を見ていると、実に清々しい思いがして、身に着けたマナーには感心してしまいます。親御さんは、この子らをどのように育てられたのでしょうか? 私達里親としても、子どもを育てる時には、こうした子ども達の在り様は、大いに参考になると思われる、この頃です。

(監事 葛西 譲)